

理科教室 報告書

担当者：大野 文

- 開催日：8月10日(木)9:30~13:00 スタッフ集合9時/生徒 9:20 12:30解散
- 会場：須賀公民館ホール、調理室
- 準備：麦茶、紙コップ、ゴミ袋、ふり返し作成、非常持出バッグ(救急用品、緊急連絡先)、講師謝金と領収書の準備
- 参加者の持ち物：ペットボトルを切るハサミ、子ども用軍手、筆記具、飲み物
- 経費：講師謝金 1人1回1,500円 ×6名
- 講師：東海大学大学院人間環境学専攻修士2年 樋口琉以さん
鈴木翔喜さん、鈴木登偉さん、久保田みのりさん、水船皓介さん、山澤直起さん
藤野先生 広報担当(オコナーさん)
- テーマ：平塚と大山の関りから「ゴミを通して見える川と海の自然」
- 内容
川や海のゴミを映像で紹介、ペットボトルを分別する際の注意実験
ペットボトルを線維化する実験、ゴミの分別(家庭ごみ編/海ゴミ編)
生き物を守るための行動を考える他
- 参加者：小学生25名(生徒18名/一般7名)

学年	人数	グループ分け
小1	1	A
小2	2	
小3	5	B
小4	5	C
小5	7	D・E
小6	3	F
中1	1	
中2	1	
合計	25	生徒18名 一般7名

支援員：伊藤、渡邊、清田、大野悟、三谷、大野 ボランティア：小山内惺

- ふり返し (スタッフ)
予定のプログラム通り進行できた。
講義内容に流れがあり大変良かった。
ペットボトルの実験やゴミの分別を通して、有効なりサイクルについて学べた。

- ふり返り（生徒）

① 教えてもらって一番楽しかったことは、なんですか？

実験、ペットボトルのリサイクル

② おずかしかったことは、なんですか？

分別、リサイクル

③ そのほかに感じたことを自由に書いてください

楽しかった など